

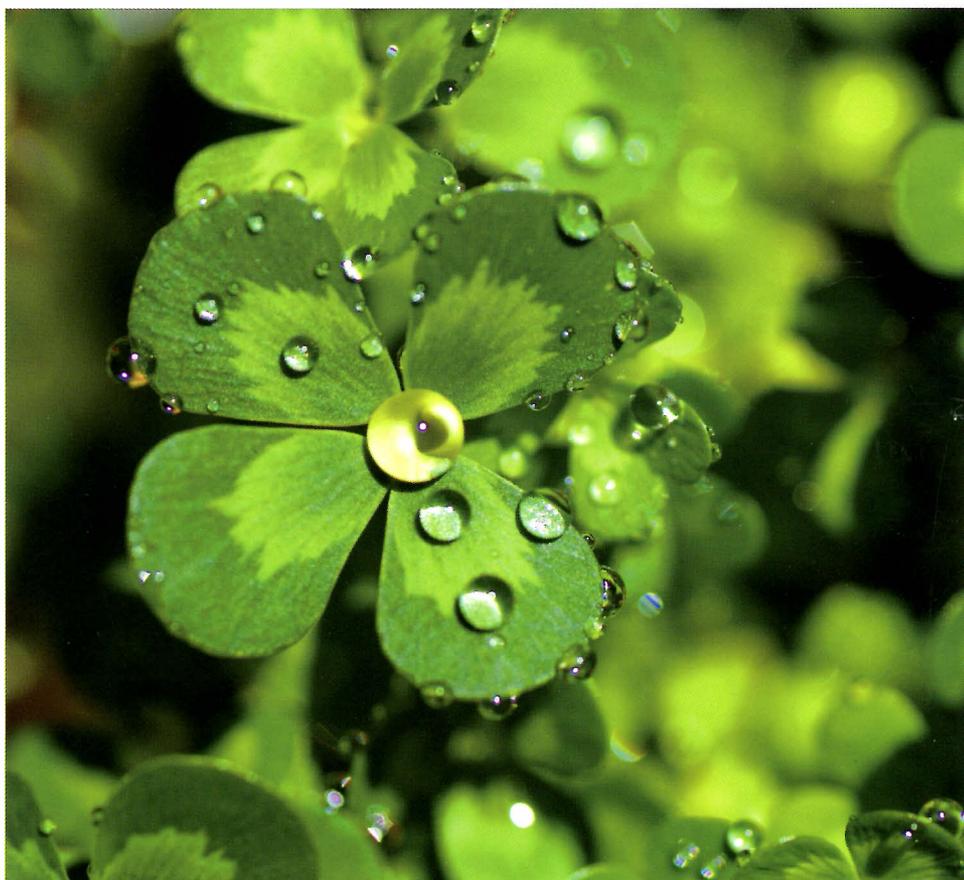
BEADS COAT

超撥水特殊変性シリコン樹脂つや消し塗料

ビーズコート

水系

- 超撥水性
- 低汚染性
- 低臭・低VOC
- 透湿性・透水性
- 高耐候性
- 防かび・防藻性



建築塗料の総合メーカー

ビーズコート

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

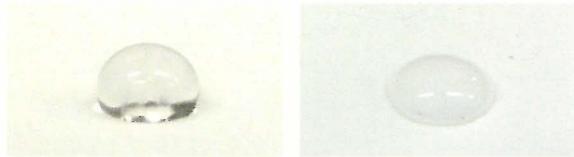


ビーズコートは、ハスの葉に似た表面の微細突起構造と表面の疎水特性により、塗膜表面についた水はガラスビーズのように丸まって水滴となり、泥などの異物を絡め取りながら転がり落ちることで、いつまでもきれいな塗膜を保ちます。また、特殊変性シリコーン樹脂により従来のつや消し塗料にない可とう性、高耐候性を有した塗料を実現しました。

特長

超撥水性

シリコーン樹脂成分による撥水効果と塗膜表面の微細な凹凸形状により、雨水等をビーズ状にはじき、優れた防水性を発揮します。



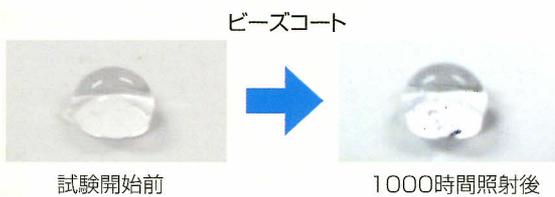
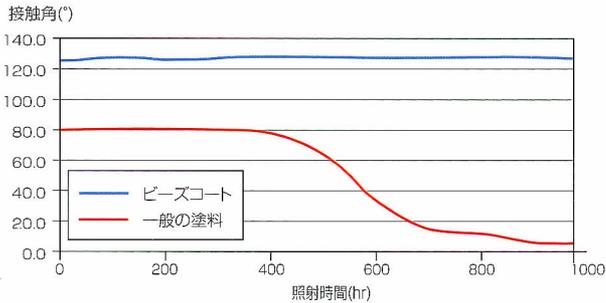
ビーズコート

一般の塗膜

高耐候性

シリコーン樹脂成分の強固なシロキサン結合は、耐候性に優れており、塗膜の撥水性を長期にわたって維持します。

促進耐候性試験での撥水性評価 (スガ試験機備置/デューパネル光コントロールウェザーメーター)



改修にも最適

特殊変性シリコーン樹脂により柔軟な塗膜を形成し、可とう形改修用仕上塗材の上塗りにも適応できます。

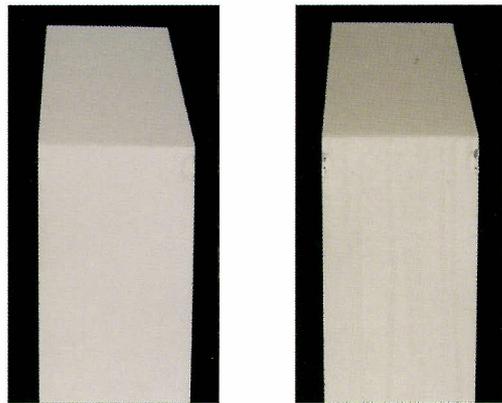
防かび・防藻性

塗膜表面が濡れにくいいため、かび・藻などの発生を防ぎ、微生物汚染から建物を守ります。

低汚染性

雨水に含まれる汚染物質が塗膜表面に付着しにくく、付着しても表面を転がる水滴により除去されるため、塗膜表面が清浄な状態を維持します。

屋外暴露による耐汚染性(一年間)

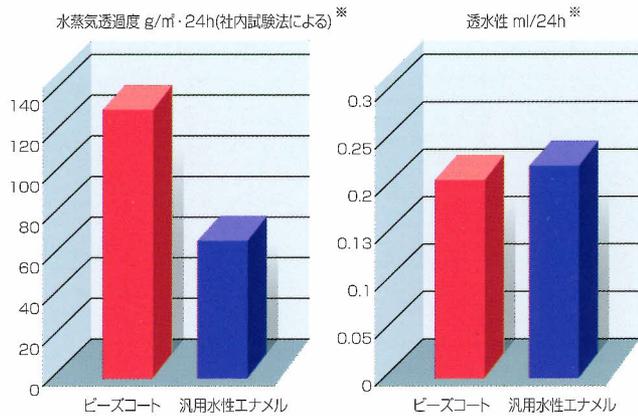


ビーズコート

汎用エマルションペイント

透湿性・透水性

塗膜中に形成されたナノサイズの細孔を通して、建物内部の水蒸気を外部に発散し、建物の結露防止に寄与します。



※ 下塗りは、サミプラを使用。

環境対応

水性のため、溶剤中毒や火災の心配がなく、作業環境の向上に役立ちます。また、厚生労働省がシックハウスの可能性を指摘する物質は一切含んでいません。

■ 性能 ・ 試験方法は、JIS K 5663 1種に準じる。

| 試験項目 | 結果 | 品質規格 |
|-------------------|------|---|
| 容器の中での状態 | 合格 | かき混ぜたとき、堅い塊がなくて 一樣になるものとする。 |
| 塗装作業性 | 合格 | 2回塗りで、塗装作業に支障が あってはならない。 |
| 低温安定性(-5℃) | 合格 | 変質してはならない。 |
| 乾燥時間 | 標準状態 | 合格 2時間以内 |
| | 5℃ | 合格 4時間以内 |
| 塗膜の外壁 | 合格 | 塗膜の外観が正常であるものとする。 |
| 隠ぺい率 % [白及び淡彩] | 97 | 93以上 |
| 耐水性 | 合格 | 96時間浸したとき異常が ないものとする。 |
| 耐アルカリ性 | 合格 | 48時間浸したとき異常が ないものとする。 |
| 耐洗浄性 | 合格 | 500回の洗浄に耐えるものとする。 |
| 促進耐候性 | 合格 | 異常がない。 |
| 屋外暴露耐候性 | 合格 | 12ヶ月の試験で、膨れ、はがれ及び割 れがなく、色の変化と白亜化の程度が 見本品に比べて大きくないものとする。 |



色見本



*1.色見本は紙に塗装していますので、実際の仕上がりとは色・つやが多少異なります。ご了承ください。
2.色見本には撥水効果はありません。

■ 新設仕様

| 工程 | 塗料名 | 調合(重量比) | 標準塗付量(kg/m ² /回) | 塗回数 | 塗装間隔(23℃) | 塗装方法 |
|----|------|---|-----------------------------|-----------|-----------|--|
| 1 | 素地調整 | ・ 素地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・ 素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・段差などは、予めラフトンフィラーなどの建築用下地調整塗材で平滑にする。 | | | | |
| 2 | 下塗り | サミプラ ^{※1} 清水 | 100 0~5 | 0.07~0.11 | 1 | 3時間以上 はけ ウールローラー エアレス |
| 3 | 上塗り | ビーズコート 清水 | 100 5~15 | 0.10~0.15 | 2 | 2時間以上 (最終養生) 24時間以上 はけ ウールローラー エアレス |

注※1 下塗りには、サミプラホワイト、リメイクシーラーEPO、カチオンシーラーEPO、カチオンホワイトシーラーEPOやワイドシーラーEPOなども使用できます。

■ 建築物基礎部塗装仕様

| 工程 | 塗料名 | 調合(重量比) | 標準塗付量(kg/m ² /回) | 塗回数 | 塗装間隔(23℃) | 塗装方法 |
|----|------|---|-----------------------------|-----------|-----------|--|
| 1 | 素地調整 | ・ 素地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・ 素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・段差などは、予めラフトンフィラーなどの建築用下地調整塗材で平滑にする。 | | | | |
| 2 | 下塗り | カチオンシーラーEPO | 100 (無希釈) | 0.07~0.17 | 1 | 2時間以上 はけ ウールローラー エアレス |
| 3 | 上塗り | ビーズコート 清水 | 100 5~15 | 0.10~0.15 | 2 | 2時間以上 (最終養生) 24時間以上 はけ ウールローラー エアレス |

■ 可とう形改修用仕上塗材仕様

| 工程 | 塗料名 | 調合(重量比) | 標準所要量(kg/m ² /回) | 塗回数 | 間隔時間(23℃) | 施工方法 |
|----|------|--|-----------------------------|-----------|-----------|--|
| 1 | 下地調整 | ・ 既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ・ 汚れ・じんあい及び・チョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧:15MPa以上)で除去する。 ・ 水洗い面を乾燥させる。 ・ 既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。 | | | | |
| 2 | 下塗り | リメイクプラ又はリメイクプラRE 清水 | 100 1~3 | 0.80~1.50 | 1 | 8時間以上 パターンローラー塗り |
| 3 | 上塗り | ビーズコート 清水 | 100 5~15 | 0.12~0.20 | 2 | 2時間以上 (最終養生) 24時間以上 はけ ウールローラー エアレス |

■ 塗装適用範囲

適用部位・・・一般外壁、柱、廊下壁、階段壁、天井、建築物基礎部
 適用素地・・・コンクリート、モルタル、PCパネル、ALCパネル、スレート、石膏ボード、木部、窯業系サイディングボードなど
 適用既存塗膜・・・アクリルリシン・吹付タイル・スタッコ・単層弾性[※]・弾性タイル[※]・EPの活膜
 ※下塗りには、リメイクプラを使用してください。

■ 荷姿

● ビーズコート 20Kg、4kg
 ● 色相 白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺(淡彩・中彩・濃彩)

■ 塗装上の注意事項

- 素地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 気温5℃以下、湿度85%以上または結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 塗料は十分にかくはんしてからご使用ください。うすめすぎは、スケ・仕上がり不良などの原因になりますので注意してください。
- 塗装後に結露を生じますと、塗膜がタレたり、シミになりますので、冬期や雨天の塗装には、十分ご注意ください。
- 各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
- 塗料の取扱い時、塗装時は、換気を行ってください。また、塗装後も乾燥のために、換気を十分に行ってください。
- 新設塗装では、必ずシーラー(下塗り)を塗装してください。吸い込みの著しい面などは、予めラフトンエポキシシーラーまたはサミプラを塗装して下さい。
- 段差、巣穴、ひび割れ及びボード類のジョイント部などはパテまたはラフトンフィラーで平滑に調整してください。(但し、外部のパテ使用は不可)
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)
- ALCパネル面は、ラフトンフィラーまたはスズカブラサフで全面に、木部の場合はドライキットで素地調整してください。
- 取り付け金具、くぎ頭などは、予めさび止め塗料で拾い塗りしてください。
- 外部塗装での赤、黄色系の使用は、他の色に比べ保色性が劣りますので、留意ください。
- 吹付け塗装の場合は、飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
- ベンチ・ジャングルジムなどが乗る物、またテーブル・カウンター・棚などを置くものへの塗装は避けてください。
- 補修塗りは同一ロットの塗料を、同一の塗装方法で行ってください。
- 塗装後のはけ、ローラーなどの用具は早めに水洗いしてください。
- 本カタログに記載以外の下地や仕様で塗装される場合は塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

■ 取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所の保管は避けてください。雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。

注)① 建物の構造、塗装部位(雨のかかりが少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

② 各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。また、製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 ☎510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
 研究開発本部 ☎510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
 大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
 九州支店 ☎092-938-0071

取扱店